

評価シート 様式

取組名	『笑友(エミュー)』で再生！あばしり元気プロジェクト～地域内循環型ビジネスの実証研究～		
実施団体名	あばしり元気再生エミュープロジェクト推進協議会	対象地域	網走市(地区:南、八坂、稲富、二見ヶ岡、ほか農村部)、置戸町、斜里町
(代表団体名)	株式会社東京農大バイオインダストリー	推薦団体名	網走市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	『笑友(エミュー)』で再生！あばしり元気プロジェクト～地域内循環型ビジネスの実証研究～		
実施団体名	あばしり元気再生エミュープロジェクト推進協議会	対象地域	網走市(地区:南、八坂、稲富、二見ヶ岡、ほか農村部)、置戸町、斜里町
(代表団体名)	株式会社東京農大バイオインダストリー	推薦団体名	網走市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	複合性:エミューの解体、オイル精製、加工等の地域産業振興や雇用促進、また国内で飼育数が少ないことから観光振興としても効果を期待。 先導性・モデル性:エミューという新たな地域資源を活用した生産から加工・販売まで一貫して行う地域内循環型ビジネスモデル構築に向けて着実に前進している。 相乗効果・波及効果:提案団体に大学が入っていることから、卵の成分分析等のエミューの新たな可能性についても学術的検証が得られ、更なる活用手法拡大にも展開。また、エミューは認知度が低く目新しいことや性格が温厚で人とも親しみやすいことから、新しい飼育場に周辺住民が集まるという効果も得られており、観光における可能性も示された。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	エミューという新しくかつ独自性のある地域資源を活用するため、産官学が一体となって生産数の拡大や加工技術確立等に取り組む、着実に地域内循環型ビジネスモデル構築に向けて前進している点が評価できる。今後は以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより本格展開に向けた継続的な展開が期待できる。
	次年度以降については、事業の本格展開に向けて、生産数の拡大や認知度を含めた販路拡大が最大の課題であると考えられるため、それらの視点に立って各取組を行い、22年度以降の自立的展開を図るべきである。 具体的には、取組1「孵化の効率化及びペアリング適正に関する試験研究の継続」は生産数拡大に必要な取組ではあるが、20年度の成果を踏まえ効率的・効果的に実施すべきである。取組2「エミュー飼育規模拡大・牧場運営モデルの確立」は生産数の拡大において必要な取組であり、実施すべきである。取組3「オイル製品開発研究及び食肉の鮮度保持試験」のうち「オイル製品開発研究」については、中長期的な視点に立った取組が必要であるため、本事業に依らずに自主的な運営を図られたい。また「食肉の鮮度保持試験」については、道外への出荷等の販路拡大に必要な取組であり、実施すべきである。取組4「エミュー製品の市場マーケティング調査及び販路の確立」については、販路拡大に必要な取組であり、実施すべきである。